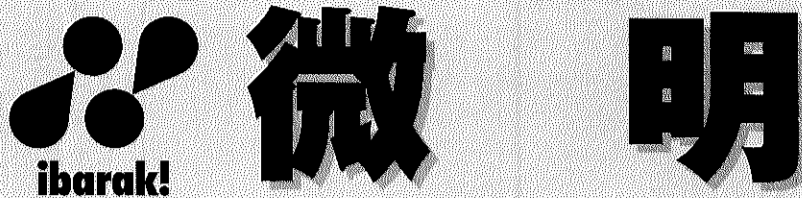


銚田市商工会青年部会報



No.34 平成 25 年度版

発行日 平成 26 年 3 月 31 日
編集 銚田市商工会青年部
発行 銚田市商工会青年部
部長 田上 隆生
部長 銚田 2482-1
TEL 0291-32-2246

Contents(目次)

- P1. 通常総会
かながわ商工会まつり2013
発刊にあたり
- P2. 主張発表大会
うまかつフェスタ'13-銚田マラソン
- P3. 野球・市長との懇談会・親睦旅行
鹿行キッズカップ2013
- P4. 新入生・卒業生紹介・イルミネーション



去る平成二十五年四月二十二日(月)午後七時銚田市商工会館に於いて、銚田市商工会青年部の平成二十五年度通常総会が開催され、平成二十四年度事業報告をはじめ提出された議案は異議なく承認されました。また、任期満了に伴う役員の変更については、あらたに下記の通り選出されました。

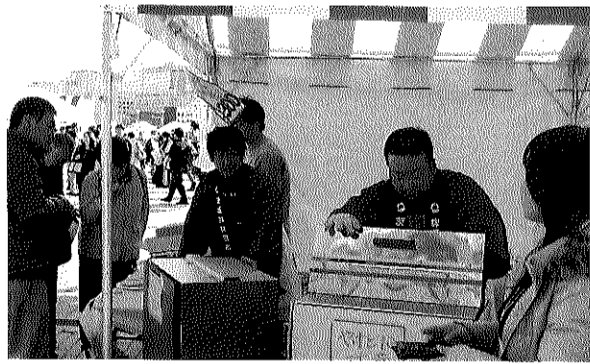
平成25年度
銚田市商工会青年部
通常総会開催

- 部長 田上 隆生
副部長 山崎 順
常任委員 眞家 吉貴
大輪 幸之助
二重 聖一
本澤 彦治
長峰 雄一
中山 浩一
中野 拓哉
渡村 拓志



茨城県

今年も十一月二十三日(土)に、神奈川県横浜市横浜港の赤レンガ倉庫にて開催された「かながわ商工会まつり2013」のイベントに銚田市商工会青年部も参加しました。このイベントは規模が大きく、神奈川県内十九の商工会が一堂に集まり、地域の優れた特産品や観光・伝統文化などを紹介することを目的として毎年開催されています。イベントの内容は大きく三つあり、地域の特産品等の販売や観光のPRを行っている「商工会のブース」・地元で人気の移動販売車が集まった「移動販売コーナー」・よさこい音頭やフラダンス、ご当地アイドルのライブを行う「イベントコーナー」です。我ら銚田市商工会青年部は、「商工会ブース」にて焼き芋を販売してきました。イベントには田上部長、山崎副部長、私と渡辺拓也君に、商工会事務局から畑木さんの計五名が参加



しました。焼き芋はとても人気で、イベントが終わる前に完売してしまいうほど大人気でした。持ってきた焼き芋機は三台ともフル稼働で働いていましたが、それでも間に合わず、お客様に待っていただくほどです。試食品として出した焼き芋はすぐになくなり、試食品づくりが追いつかなくなったので、一時試食をストップしたほどです。今回用意した芋は「紅あずま」という品種で、ほっくりとした口当たりが特徴の芋ですが、今回芋を熟成させる事で、しっとりとした口当たりになり甘さももちろん良い焼き芋を販売し、お客様から「なんていう品種なのか」「焼かなくていいから売ってくれ」等のお声をいただくほどでした。銚田市にはまだ知らない魅力ある商品が隠れていることを再発見した一日でした。

かながわ商工会まつり2013
平塚里和

まずは、微明発刊が出来ました事を広報委員会をはじめ、部員の皆様また事務局の皆様にご感謝申し上げます。さて今年度四月の通常総会に於いて銚田市商工会青年部部長職を拝命し、早一年が過ぎようとしています。部長を就任した当初は、自分が部長で大丈夫であろうかと不安の所もございましたが、そんな事などすぐに吹き飛びました。常任委員会や定例会などの集まりで、多くの部員に参加して頂いたからです。さらには先の参議院選では、我々青年部の先輩、宮本周司さんが当選しました。これも偏に協力して頂いた部員一人一人の力があつたからだと思っております。国政において松村先輩を筆頭に、渡辺先輩宮本先輩で三本の矢になりました。ただ今政策について、中小企業の大きな括りの中だと、我々の様な小規模の企業にとって利用しにくい基本法ばかりでございます。そのような中、我々が利用しやすい小規模の企業のための小規



微明 発刊にあたり

青年部部长 田上 隆生

模企業基本法で、儲かる企業とにぎわう地域をつくるために活動していただいているしだいでありませぬ。さて、銚田市商工会青年部に關しまして、昨今商工会員の減少にもない青年部も減少と高年化になっております。部長として急務であるかと思うのが、部員の増強と部員の向上だと思います。さて、銚田市商工会青年部に關しまして、勉強会などを実施しており、商工会の成り立ちから役割また事業継承に關する問題・経営革新・金融に關する勉強を行っているしだいであります。また昨年十二月に商工会の事業である、イルミネーション事業にも青年部として率先的に協力し、昼夜を問わず準備から片付けまでを行いました。多くの銚田市内外からの市民にイルミネーションを楽しんでもらえたことと思っております。本日に部員の皆様、寒い中ありがとうございます。商工会員の皆様、私達青年部が今年度おこなった事業の数々を部員が自分の想いで書いております。どうぞくまなく読んでいただきたいと思います。最後に部員の皆さん、今しか出来ない青年部活動、事業を楽しんでもらいたい!!さらには共に自分の将来の為に、家業の発展に自己研鑽しながら、銚田市商工会青年部を盛り上げていきたいと思います。皆に感謝ありがとう。

主張発表大会

大槻 幸之助



第四十五回茨城県商工青年の主張発表大会に、銚田代表として参加しました。

年度の初めに部長から指名されたのですが、去年から「次は銚田の番だからね！」といわれていたのである程度の覚悟は出ていたつもりでした。

しかし、いざ文章を考え出すと一向に考えがまとまりません。文章の提出期限が迫ってきても、なかなか思うようにはいかず暫定的な文章のままの提出となりました。

行方市商工会青年部との合同練習会を開いてくれるという事

で麻生へ出向いたのですが、行方代表の阿部君は文章の完成度のみならず、表現力もあり、あまりのレベルの高さに愕然とさせられました。

これではイカン！と大幅な文章変更に着手しました。大会二週間前にもう一度合同練習会を設けていただいたので、それまでに何度か部員に聞いてもらいながら修正をしました。

二度目の練習会には大洗の代表も来てくれました。私の発表はだいぶ良くなったものの、まだ納得いく出来ではありませんでした。ギリギリまで文章の構

成を考えていた為、全文を暗記する余裕がありませんでした。そして迎えた七月二十四日の本番当日。緊張の面持ちで控室に入り、発表順のくじ引きで十二人中八番目となりました。前半六名の発表を聞いてみると、みんな上手で自分の文章に不安を感じ、土壇場での修正をしようしていました。

休憩を挟んで後半の部へ。極度の緊張に包まれながら出番を待ちます。そしていよいよ自分に順番がまわってきました。壇上へ上がると応援に駆けつけてくれた鹿行の商工会青年部員達が大きな声で「ゆきのすけー！ー」と励ましてくれました。この声援で緊張がほぐれた気がしました。

発表のテーマは「五年間の青年部活動」。三十代半ばで入部した私が限られた時間で何を学び、これからどのように行動していくべきかと言う内容の発表をしました。

締めくくりの言葉では「我が青年部活動に一片の悔い無し！と切り替えるように努力していきます。」と握り拳を天に突き上げ大きな声で宣言しました。

結果は土壇場での修正が功を奏したのか、第三位でした。他にも上手な人が何人か居たので入賞できただけ良かったかな？と思います。優勝に輝いたのは、合同練習で共に練習した行方の阿部君。とても素晴らしい発表で誰もが納得の優勝でした。

今回、沢山の部員に支えられ、鹿行ブロックの仲間たちにも励まされ、貴重な体験ができました。これを糧にこれからも精一杯頑張っていきます。ありがとうございました。

うまかつペフェスタ'13

長峰 雄一



我々青年部の年間行事の中でも最も重要なイベント、「うまかつペフェスタ'13」が平成二十五年十月六日、鹿島灘海浜公園にて開催されました。

本来ならば五、六日の二日間の開催予定でしたが、悪天候により五日は中止。六日だけの開催となりました。そのため一部の催しは取りやめとなりましたが、うまかつペ鍋や野菜タワーなどは二日分の食材を一日で振る舞われていました。我々青年部員たちは何ヶ月も前からこの日のために準備してきました。自分の仕事が終わってから商工会に集まり、夜遅く、時には日付けが変わるくらいまで作業を

続けた日もあります。皆このイベントを成功させたいという一心で委員会ごとの仕事に集中していました。

そして本番当日。前日からの雨が降る中、開催準備に追われる部員たち。前日の中止による大幅な予定変更や雨による集客への影響など様々な不安要素を抱えつつも黙々と準備を進めました。

準備がある程度終わったころには雨もあがり、いよいよ開場です。次から次へと訪れる来場者たち。心配は杞憂に終わりました。プリキユアショーや大切な人へのメッセージなどのステージで行われたイベント。食の

グランプリ(優勝は井川フーズの「ハリハリチキン南蛮」)やほこまる似顔絵コンテストなど各テントで行われたイベントなど、どこもかしこも大盛況。紅白餅まきで撒いた三千個の餅や、ゲームコーナーで用意した景品も二分分あったのに瞬く間に無くなりました。

市内はもちろん、県内からも有数の企業が集まるこのビッグイベント。今回は約八万人が訪れたそうです。青年部員たちも休憩もとれないほど大忙しでしたが、来年はもっと来場者の方々を楽しんでいただけるように努力していきたいとおもいます。



ほこた マラソン

菅谷 秀仁

平成二十五年十二月十五日、第九回ほこたマラソン大会が開催されました。

今回、青年部員で大会に出場したのは私だけでしたが、それには訳があります。友人と一緒に体力をつけようと、この大会を目標に約一年間、練習に励んできたためです。

大会当日、天気は曇りでしたが雨が降っておらず、銚田市役所前は今からスタートするランナーと、沢山の来店でごった返していました。

青年部員達は恒例となった豚汁を作るため、早朝から準備に追われていました。ランナーの疲れた&冷えた切った身体にはとても染み渡る、やさしい味に仕上がっていました。

老若男女、大勢のランナーたちが続々と銚田の街中を駆け抜けていきます。商店街の方々は沿道に出てあたたかい声援を送ってくれました。この声援がランナーたちの背中を押してくれたのは言うまでもありません。

さて、私の結果ですが、見事に五キロコース完走！順位は六十五人中三十一位(中間でとても普通)でしたが、とても満足いく結果だったと思います。

私は今年から商工会青年部に参加させていただくようになったので、今後はこのほこたマラソンなどの市のイベントにも積極的に参加をし、地域の方々と一緒に「銚田市」を盛り上げていきたいと思っています。

市長との懇談会

二重作 聖宣

平成二十六年二月十三日、錫田市商工会議室において鬼沢市長との懇談会が行われました。今回は①創業者支援について②商工会青年部に求めるもの③小学校統廃合後の校舎利用について④商工観光課についてという大きく5つのテーマ、それぞれの内容にそって行政的な立場からの見解やご意見をいただきました。

なかでも今回「鬼沢市長が今の自分達に求めるもの」という今までは趣向を変えたテーマでは、自分の経歴や青年部に在籍していた頃の思い出をお話してくださいました。入部するきっかけが現山崎副部長のお父さんに誘われて入ったこと、錫田の商店街で歩行者天国をやった時の話など、青年部の大先輩としての話はとても興味深く面白い内容でした。そして「若い君達にはいろいろな事にチャレンジして欲しい」ということを強く言われました。なにかやろうよ！の話から「歩行者天国」というイベントを成功させる為に警察の許可や資金関係など、そ

れぞれに役割を分けて一つの事を成し遂げた充実感。いろいろな所での講演会や勉強会など自分から積極的に参加することで経験できること。損得抜きでやることの大切さ。みんなで何かやる事に意義があつて、楽しいなあと、その時その時に生まれるいろいろな発展していく前向きな気持ちでチャレンジしたり苦労して欲しい、そしてそういう出会いが自分の役に立つし、活動を通して勉強できることだよとおっしゃっていました。私もそう思います。

青年部活動は自分から出て自分から何か掴もうとしているならば、すごく楽しい組織だと思います。ただ在籍しているだけじゃ勿体無いっすよ。いやマジで。



鹿行キッズカップ2013 渡辺 拓哉

今年も錫田がキッズカップ担当だった為、実行委員である大槻君から誘われて、実行委員をやらせていただくことになりました。

私は基本的に頼まれたことに對してNOとは言わない主義として、速攻で「YES」と答えたいと思います。実は「YES」か「はい」しか言わないので、もしかしたら「はい」と答えたかもしれません。

キッズカップはカシマサッカースタジアムで鹿行地区の小学生を集めて大会を開催します。今回は錫田、鹿嶋、神栖から各二チームずつ選出し合計六チームでリーグ戦を行いました。小学生たちは憧れのカシマスタジアムのピッチに立ってサッカーが出来ることに興奮している様子。親御さんたちも大きな声で応援していました。

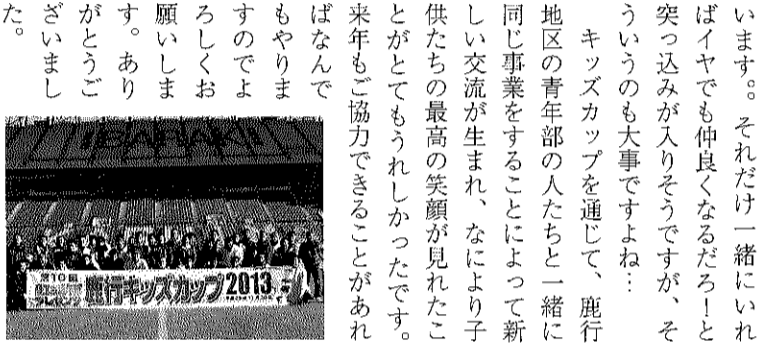
私はキッズカップの後のに行わ

野 球 児 嶋 剣 文

昨年、鹿嶋と合同優勝となった我が錫田チームは、今年度の鹿行大会は鹿嶋とともに無条件で県大会出場が決まっております。異例の鹿行地区から三チーム出場という形になりました。そこで、7月2日の鹿行大会は野球未経験の部員にも出場してもらい、当日参加者はほぼ全員試合に出してもらいました。

「グローブはめたこともないよ」と言っていたメンバーもいざ試合に出てみると「緊張した」「ダメだ」と、うまくいかないながらも楽しんでプレーしていました。学生の頃や好きでやっていない限り日頃そういう機会はなかなか無いと思われた鹿行地区の青年部との懇談会が印象的でした。午後二時から十二時頃くらい飲み続け、帰ったのは日付が変わってからの話ですが、素晴らしい懇談会を深められたのではないかと感じます。それだけ一緒にいればイヤでも仲良くなるだろう！と突っ込みが入りそうですが、そういうのも大事ですよ。

キッズカップを通じて、鹿行地区の青年部の人々と一緒に同じ事業をすることによって新しい交流が生まれ、なにより子供たちの最高の笑顔が見れたことがとてもうれしかったです。来年もご協力できることがあればなによりです。よろしくお願いします。ありがとうございます。

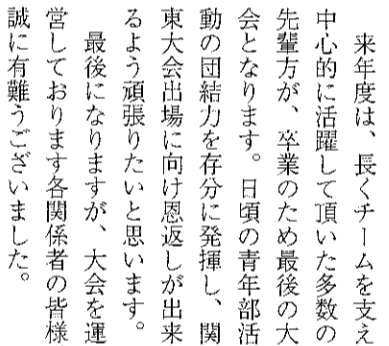


結果は一回戦敗退となりましたが、良い経験をしてもらったのかなと思います。

そしていよいよ、10月2日に水戸市民球場にて県大会です。一回戦の相手は常陸大宮市。奮闘しましたが残念ながら惨敗という結果に終わってしまいました。しかし、何より錫田市主催の「うまかつフェスタ」の3日前という準備の大忙しの期間にも関わらず、選手部員以外にも応援で大勢の部員が集まってくれました。本当にありがたくなります。

来年度は、長くチームを支え中心に活躍して頂いた多数の先輩方が、卒業のため最後の大会となります。日頃の青年部活動の団結力を存分に発揮し、県東大会出場に向け恩返しが出来よう頑張りたいと思います。

最後になりましたが、大会運営しております各関係者の皆様誠に有難うございました。



親睦旅行 澤 幡 雄 介

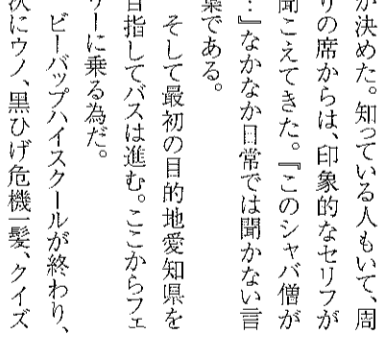
二月二十二日午前四時僕達の長く楽しいバスの旅は始まりました。目的地は伊勢神宮。田上部長から挨拶を頂き親睦委員の大槻さんの説明を受ける。朝が早かったのでみんなは寝たりしながら過ごしていた。片道半日近くはバスの中で過ごす事になる為、親睦委員の大槻さんが僕達を楽しませるために色々な物を用意してくれました。僕は初めにDVDを見ることにした。タイトルは「ビバップハイスクール」何枚もあるのびんが選り好みでいるなか、僕の隣に座っていた菅谷君が決めた。知っている人もいて、周りの席からは、印象的なセリフが聞こえてきた。「このシャバ僧が」なかなか日常では聞かない言葉である。

そして最初の目的地愛知県を目指してバスは進む。ここからフェリーに乗る為だ。

ビバップハイスクールが終わる、次にウソ、黒ひげ危機髪、クイズをした。クイズは伊勢神宮に關係した問題が出され、参考になった。

十二時頃伊良湖港に到着。ここから三重県鳥羽港に行くフェリーに乗り、時間位の船の旅だ。バスごと乗船する。なかなか船に乗る事もないので新鮮な気分だ。

波にゆられること二時間、鳥羽港に到着。ここから三十分位で伊勢神宮の外宮に到着する予定。いよいよ今回の旅の目的地伊勢神宮に到着だ。僕は荒野野商工会長に特別参宮賞というものを頂き伊勢神宮の正式参拝をさせて頂くことができました。外宮、内宮ともです。これは普通ではなかなか経験できない事です。仲間と一緒に体験できた事でより感動しました。



外宮の参拝が終わると内宮に移動しました。内宮ではガイドさんがついてくれましたが、誰もがおぼちゃんだろうと思っていた所、内宮の隣にあるおかげ横丁のお土産屋さんの若い女性が案内してくれたので、きつとみんなテンションが上がっていたと思う。少なくとも僕は上がりました。

内宮の参拝を終え岩戸屋さんでお茶を頂いてからおかげ横丁を散策。お店が軒を連ね大勢の観光客が通りを歩いている。かの有名な赤福の本店もあつて、そこはすごい行列が続いていた。

あつというまに出発の時間になり、今夜の宿である名古屋屋に向かう。みんなでビールを飲みつづみを食べたりしていると、僕は眠くなって寝ていた。

一時間位寝たのだろうか。起きると、DVDが始まっていた。「アウトレイジビヨンド」である。この映画にはパッティングセンターのシーンがあるんだと崇徳さん。そのシーンを見た後はパッティングセンターに行きたくなるよと言っていた。納得。グロサが半端ない。

そうこうしているうちに今夜の宿に到着。チェックインを済ませ三十分後にフロントに集合。世界の山ちゃんというところで今夜の大宴会だ。とても楽しい時間が過ぎていった。その後の二次会三次会もとても楽しかった。

二日目の予定は名古屋城見学、そのあと十三時半まで自由時間。それからバスで帰宅だ。

名古屋城までの道中は昨日の夜の出来事の話でもちきりだった。

名古屋城に到着して正門をくぐると木の間に遠くに見える名古屋城。とてもいい感じである。正門の近くには金の実物大の鯉が置いてありその前で部長が鯉のポーズをとりパシャリ。面白い画が撮れたらう。

名古屋城の中は歴史博物館のようになっており、武器武具など色々な物が展示されており、その時代の歴史が伝わってくる。

城を出ると集合写真を撮り、そこから自由行動。

寿博さん雅人さんと一緒に名古屋駅へ。目的はお昼ごはんとお土産だ。名古屋と言ったらひつまぶし。駅ビルの地下のお店に入る。お店は席と席の間が狭いのだが背の高い雅人さんとそこで働いているおぼちゃんを比べると小人が所狭しと働いているみたいで面白い光景だった。

メニューは三つしかなく、みんな一番盛りがいのを頼んだ。三種の食べ方があり、僕は海苔とネギをのせて食べるのがよかった。

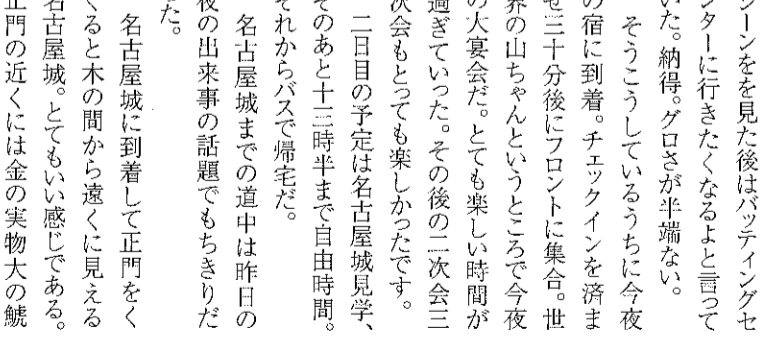
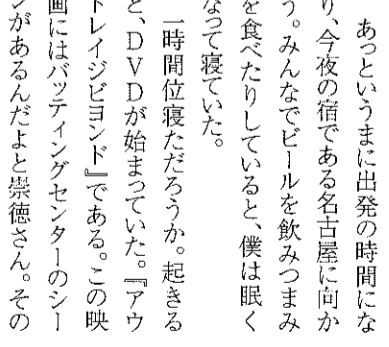
食べ終えると駅ビルのお土産屋さんで買い物し、名古屋駅を後にした。

これからバスで茨城へ。昨日途中までだったアウトレイジビヨンドをみる。ピンゴ大会では二万円当たったのいい思い出です。

海老名SAで夕食を食べ、お土産を買って茨城に戻ってきました。いずみにて砂叩き。部長の話、みんなそれぞれの感想を述べ、親睦委員の方に感謝をし旅行の成功を称える。今年で卒業される小橋顧問、関根さんからありがたい話を頂き今回の旅が終わった。

伊勢神宮での正式参拝、夜の名古屋、バスの中の出来事、どれも楽しかった。それもこれもみんながいたからだ。今回の旅行では仲間同士の距離がより近くなり、今まで以上に仲間という感じが実感できました。

これからも青年部の人達と協力し合い活動していきたいと思えます。



卒業おめでとうです



祝
歌えもん
伊原 奨

祝
手打ちそばおにざわ
鬼澤 康一

祝
(株)オジマ洋品店
小島 達也

祝
(株)マルシン
小橋 一男

祝
(株)昭和観光
根本 一晃

祝
門井米肥店
門井 肇

祝
飯島塗装工業
飯島 義勝

祝
(有)共 伸
関根 章智

卒業にあたり

小橋 一男

青年部に入部してあつという間の十五年でした。この十五年で最高の思い出と最高の仲間に出会う事が出来ました。

特に思い出に残った出来事を掲載させていただきます。まず旭村商工会青年部最初の一年、二年はろくに会議や事業にも出ず、あまり印象がありませんでしたが、やはり大きな事業は旧銚田・旭・大洋合同によるHATキッズチャレンジショップ。当時の小学四年生を主体とし、実際に商品を仕入れ、実際にお客様に物を売り、お金を頂き、税金を払うという事業です。運営側の青年部、そして事業に参加する子供達も商売の楽しさを実感出来た素晴らしい事業でした。

次に亀山先輩の茨城県商工会青年部会長就任。雲の上の存在だと思っていた全青連の役員の方々が亀山先輩のおかげで身近に感じる事ができ、商工会の存在の大きさを知ることができました。

そして商工会もついに平成の大合併。合併後の二年間は副部長に就任させて頂きました。初代部長には同級生の小島君が就任し、当時のメンバーで様々な問題の解決、様々な喜びを味わえた事が僕自身の考えと商売に対する向き合い方を変えてくれた二年間でした。

そして小島君を引き継ぎ、青年部長に就任いたしました。震災直後の青年部部長、そりゃあ戸惑いも沢山あります。今まで通りの事業では部員も付いて来てくれないのではと思いましたが、まず春先に復興事業、銚田の野菜は安心ですというPR事業、県内外に限らず飛び回り

ました。後にそのPRが今でも人との繋がり、そして新しい事業に繋がっています。特に思い出に残っているのは神奈川県逗子市・葉山市のPR事業、そして和歌山県の全国大会でのステージ場でのスピーチ、清水寺での銚田市の法被を着ての観光、みんな優しく声をかけて下さいました。

二年連続での茨城県商工会青年部野球大会での優勝、初めての銚田市と一緒に開催した銚田うまかつフェスタ、家族交流バーベキュー大会、銚田市の農業・畜産・酪農・商業の青年部で行ったゴルフ大会、毎年行っている青年部研修旅行、企業組合の立ち上げ、そして田上部長にパトナタッチ！僕にはできなかった事をどんどんしてくれて仲間達の絆が更に深まったかのように見えます。

まだまだ事業は沢山ありますが内容は部員達が微明で紹介してくれていますので省略させて頂きますが、どれもこれも友達という枠を超え仲間という絆、そして人との出会いを沢山築かせて頂きました。今後は卒業という形で青年部を退かせて頂きますが、これからも卒業していった先輩方も含め銚田市と一緒に盛り上げて行ければ幸いです。

最後に卒業する立場ではありますが、勿論先輩も歴史も大事ですが、その時代の考え方、そして後輩達を特に引っ張り楽しませ「僕も青年部の部長になりたいです」と言う後輩達を沢山作って下さい。仮に部長にならなくてもみんな銚田の中で何らかのリーダーになって行く仲間達だから！

銚田市全体の元青年部の先輩方、そして商工会の職員の皆様そして青年部の後輩達に「ありがとう」と言いたいのです。

ありがとうございました。

新入部員紹介



富士福祉農場
菅谷 秀仁



山口瓦工業
山口 崇徳



井川設備工業
井川 亮祐

クリスマスイルミネーション

山崎 順司

平成二十五年十二月三日銚田市商工会「花のコミュニティ」広場「駐車場」内で商工会初の試みであるクリスマスイルミネーションの点灯式が盛大に行われました。今回イルミネーションの飾りつけは我々青年部が主となり行ったのですが、部員もこんなに大きな飾りつけは初めてで、しかも、完成のイメージ図しか渡されていなかったため、部員と商工会事務局の皆様と「あーでもない」「こーでもない」と試行錯誤しながら作業をおこないました。期間が短い中の作業でしたが、お忙しい中多くの部員さん達に参加してご協力を頂く事ができ青年部の結束力を改めて感じました。

飾りつけを行っている時は、「どうすればきれいな見えるかな?」「ここに、これを置いた方がいいんじゃない?」と無我夢中で行っていました。

実際に点灯するまでは、「うまく点灯するかな?」って不安な気持ちもありましたが、完成し点灯してみたら、そんな気持ちも吹き飛びました。

何となく夜はさびしかった銚田の商店街通りに、キラキラと明かりがともり、幻想的な場所に変わりました。

点灯後は、たくさんの方が会場に遊びに来てくれて、多くの人から「きれいだね。」と声をかけてもらったり、ツイッターで銚田にもきれいなイルミネーションがあるよってつぶやいてくれた方がいたり、大反響だったと思います。

今年も、更により良いイルミネーションができるように、皆で協力し合って頑張っていきたいと思っております。

編集後記

今年も、微明の時期がやってまいりました。

何回作業しても、微明の編集作業は、神経を使い頭が痛くなります。しかし、歴史のある広報紙、微明を制作できる事は、広報委員として嬉しく、誇りに思います。

これからも、広報委員会の部員は、微明を大切に、誇りを持って活動して行きたいと思っております。

各部員、事務局の皆様のご協力本当に感謝いたします。ありがとうございました。

(一洋)



「微明」とは

引き締めようと思うなら、しばらく拡張させておくに限る。弱めようと思うなら、しばらく与えておくに限る。

この道理を知る事を「微明」という。柔弱は剛強に勝つものである。(老子より)